

**2017年（会報第25号）**

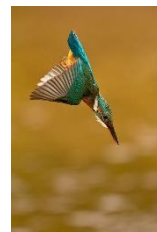
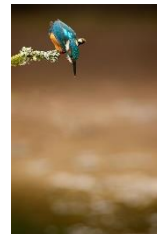
# **山行記録**



**新津ハイキングクラブ**

## 表紙と編集後記





表紙は会山行「コース 28 月山縦走」、仏生池小屋9合目過ぎのお花畑を登っているときのスナップショットです。



「翡翠（ひすい）」に例えられる美しい羽色で人気のあるカワセミについて記します。日本では、8種が記録されているそうです。世界にはおおよそ100種が分布している。ブッポウソウ目に属するカワセミ科は、ショウビン亜科（約60種）、カワセミ亜科（約25種）、ヤマセミ亜科（約10種）の3つのグループに分かれています。青や赤といった原色を基調にした羽をもった美しい種が多く、極端に長いくちばしに大きめの頭と短い足というアンバランスな容姿をしているものがほとんどだ。カワセミは短足のために歩行が苦手であるため、捕食するときは、枝などにとまって待ち伏せすると、ホバリング（空中停飛）しながら探し、水中にダイブし魚を捕獲する。営巣は、河川の土壁、アリ塚、朽ちた樹木などに穴を掘り、夫婦共同で子育てを行う。

カワセミは、姿や形、美しい羽色、餌のとり方が魅力で趣味として写真を撮る人がいることでしょう。私たちが魅力ある山々に親しみ、楽しく登りたいものです。

日本で一年中同じ地域に生息し、季節による移動をしない（留鳥）カワセミ科は2種

鳥名		カワセミ		ヤマセミ
全長	17 cm		38~43 cm	
分布	世界に広く分布、日本では本州以南、北海道では夏鳥。		アジア山間部、日本では九州以北。	
特徴	“空飛ぶ宝石” 雄は胸全体が黒色。雌は下胸がオレンジ色。背から尾までの水色が鮮やかで遠くからでも目立つ。		白黒の鹿の子模様で長めの冠羽が特徴。雄は顎線の一部と胸に橙褐色斑がある。	
環境	平地から低山の水辺環境。淡水を好むが海岸にも生息。		山地の溪流、谷、山間の湖沼、ダム湖などに生息し、河川中流でも繁殖。冬には低地の河川や海岸近くにも現れる。	
生態	水辺の枝や水中から突き出た杭に止まって獲物を狙う、空中でホバリングしてから水中に飛び込んで餌を捕る。主食は魚類。		カワセミよりも流れが早い場所で深く潜って捕食する。主食はウグイやオイカワなどの川魚。	
その他	水中の獲物めがけて一直線に飛び込む形が新幹線500系の開発に貢献。		旧80円切手のデザイン	

(1322)N/S

主な参考文献：Wikipedia、「世界のカワセミハンドブック」文一総合出版 他

発行日：2017年(平成29年)2月4日

編集者：広報(1322)N/S、(1448)Y/O、(1556)H/H、(1676)Y/Y

発行団体名：新津ハイキングクラブ <http://niitsuhc.jp>